

突然の胸の痛み…

「前胸部キャッチ症候群」とは？

「心臓が痛い」

「息を吸うと激痛がする、呼吸ができない」

時折このような症状で、左胸あたりをおさえながら来室する学生さんがいます。

循環器科や呼吸器科を受診しても異常が見つからない場合は「前胸部キャッチ症候群」かもしれません。

■ 前胸部キャッチ症候群とは

小児～20歳くらいまでの若者に起こる、突然の胸の痛みが特徴の良性の胸痛症候群です。

こんな特徴があります

- 急に起きる左胸の鋭い痛み
(刺されるような「ズキッ」とする痛み)
- 深呼吸で痛みが強くなることが多い
- 安静時に起こりやすいが、睡眠中は起こらない
- 数十秒～数分で自然におさまることが多い
- 「ここ！」と痛みの場所を指で示せる
- 胸痛以外の症状はない



■ 原因は？

原因ははっきり分かっていませんが、肋間神経への一時的な刺激、肋軟骨や筋膜のけいれん、自律神経などが複合的に関わっている可能性があると言われています。



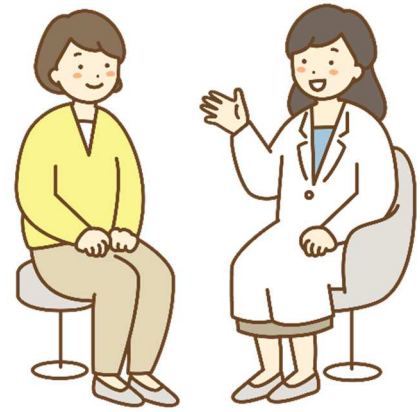
年齢とともに自然に軽快することが多く、原則として特別な治療は不要です。

「重大な心臓や肺の病気では…？」と不安になる症状ですが、このような胸の痛みがあることを知っておくと少し安心ですね。

■ 以下のような時は要注意、受診が必要な場合も

若い人でもかかる心臓や肺の病気があります。
以下の症状がある場合は、循環器科や呼吸器科
で心配ないか確かめてもらいましょう。

- 締め付けられる、圧迫されるような痛み
- 痛みが肩や背中に広がる
- 呼吸困難・失神・動悸がある
- 乾いた咳が出る
- 日を追うごとに悪化する



【胸の痛みが出る病気】

気胸・狭心症・心筋梗塞・心筋炎・大動脈解離・肺塞栓症・肋軟骨炎など

受診した場合は、本学の医療互助会を申請できます。

症状が気になる場合は、お気軽に医務室へご相談ください。

健康診断は受けましたか？

去年と比べて体重が極端に増減していたり、視力は悪化していたりしませんか？

n★star「健康診断」で結果を確認し、生活の見直しや眼鏡・コンタクトの調整をしましょう。

未受診の方

現在、未受診の方には医務室から電話連絡をしています。年に1回必ず受診が必要です。医務室で受診の手続きを行ってください。

再検査や精密検査が必要な方

n★star「あなた宛てのお知らせ」および「メール」で連絡しています。自覚症状が無くても何らかの病気が隠れている場合もあります。放置せず、二次検査の受診方法について医務室に確認に来てください。

出典：「女性に多い原因不明の胸痛（胸痛症候群）」「多感地帯の心臓前胸部」、公益財団法人 日本心臓財団ホームページ、（参照 2026 年 5 月 22 日）、Philip Buttaravoli, マイナーエマンジェンシー「前胸部ひっかかり症候群」、医歯薬出版株式会社, 2009, 「気胸」、一般社団法人 日本呼吸器学会ホームページ、（参照 2026 年 5 月 23 日）

【開室時間】 平日 8:45～18:00（受付 17 時まで）

変更が生じる場合があります。詳細は n★star のリンク「医務室」でご確認ください。

